

第六次長期総合計画後期基本計画の策定に関する住民意識調査にご協力ください

町では、まちづくりの指針となる『第六次越生町長期総合計画後期基本計画』の策定に向けて、皆様が日常生活のなかで感じていることや町行政に対する考えを反映するため、住民意識調査を実施します。

これからのまちづくりに関し、重要な調査となりますので、調査票が郵送で届いた方におかれましては、ご協力をお願いします。

対象者

18歳以上の町民から無作為に抽出された1,500人

実施日

8月中旬に実施予定

企画財政課 企画担当

☎内線 223

レインボープラン策定に関する住民調査にご協力ください

埼玉県川越都市圏まちづくり協議会（以下レインボー協議会という。）では、現在、『第4次レインボープラン』の策定を行っています。

川越都市圏住民の皆様のご意見やご要望を計画に反映させるため、住民調査を行います。住民調査は、レインボー協議会に加入している川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、毛呂山町、越生町、鳩山町の3市4町の住民から3,600人を無作為に抽出し、無記名式の調査票を郵送して行います。これからの川越都市圏のまちづくりに関し、重要な調査となりますので、調査票が届いた方におかれましては、ご協力をお願いします。

実施日

8月中旬に実施予定

毛呂山町役場 企画財政課 企画係

☎049-295-2112 内線 322

越生町役場 企画財政課 企画担当

☎内線 224

町営有料駐車場の利用について

越生町では、町内に5か所の有料駐車場を開設しております。

下記の駐車場では空きがあり、町民の方をはじめ、町外にお住まいの方でもご利用できます。また、通勤や通学時の駐車場としてもご利用になれます。

名 称	駐車 台数	空き 台数	月額利用料 (円)	場 所	位 置
越生駅西口駐車場	16	2	4,000 円	越生町大字越生 421-4	越生駅徒歩 2 分
法恩寺北側駐車場	18	10	3,500 円	越生町大字越生 706-1	越生駅徒歩 5 分
新宿駐車場	5	3	3,500 円	越生町大字越生 994-2	越生駅徒歩 7 分
本町駐車場	10	3	4,500 円	越生町大字越生 798-1	越生駅徒歩 3 分
合 計	49	18			

※令和6年6月1日現在

○募集

利用を希望する駐車場が空いている場合は、随時お申し込みいただけます。
先着順となりますので、ご希望に添えない場合もあります。

○利用者

利用者に制限はありません。
町外にお住まいの方、法人の方も利用できます。

○駐車区画

普通自動車区画
場所により、小型トラックが可能な区画もあります。

企画財政課 管財担当 ☎内線 226

台所からできるゼロカーボン Let's『キエーロ』

キエーロとは・・・

キエーロとは、生ごみ処理容器で、黒土の中に住むバクテリアが生ごみを分解してくれるものです。調理くずや食べ残したもののほか、古くなった牛乳やジュース、てんぷら油などを処理できます。言い換えれば、バクテリアを育てるために、生ごみを与えるということにもなるでしょう。

何がいいの？

- ・庭でも、ベランダでも取り組むことができ、維持費がかかりません。
- ・バクテリアによる生ごみ分解が良好に行われれば、臭いはしません。
- ・食用の廃油、汁物、腐ったものでも投入が可能です。
- ・バクテリアには水分も必要なため、水切りの必要がありません。

コンポストと何が違うの？

- ・コンポストは生ごみや落ち葉を発酵させ、堆肥化させるものです。
- ・キエーロはバクテリアによる分解で生ごみを処理するため、コンポストと違い腐敗臭がなく、また、土も増えません。

なぜ生ごみを減らすの？

私たちが排出した生ごみは、「クリーンセンターはとやま」で処理されています。生ごみは約8割が水分で、焼却の際にその水分を蒸発させるために多くの燃料が使われ、同時に二酸化炭素も排出されます。

また、台所から排出される飲み残した汁物や油分、米のとぎ汁は「毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合」又は、ご家庭の浄化槽などで処理されますが、下水処理においても二酸化炭素が排出されます。

生ごみなどを減らすことで、二酸化炭素排出量の削減につながります。

まちづくり整備課で購入できます！

越生町では二酸化炭素排出量実質ゼロへ向けた取り組みのひとつとして、生ごみを処理できる容器「キエーロ」の販売を行っています。

ぜひこの機会に、みなさまのご家庭で「キエーロ」を使った生ごみの処理にチャレンジしてください。



キエーロ購入はこちら
(越生町HP)



キエーロの使い方はこちら
(越生町HP)

企画まちづくり整備課 まち企画担当
☎内線 157

～オリジナル卓上カレンダー～ 能登半島地震における被災地への義援金の御礼とご報告

町では、令和6年能登半島地震により被災された方への支援のため、令和6年3月25日より町内4カ所の公共施設でオリジナル卓上カレンダーの配布にあわせて義援金箱を設置し、皆さまへご協力をお願いしてまいりました。

4月30日で配布は終了し、お寄せいただいた義援金総額は18,177円となり、石川県（令和6年能登半島地震災害義援金）に送金いたしました。

皆さまの温かいご支援に感謝申し上げ、被災地の一日も早い復興を心よりお祈りしております。

企画財政課 企画担当 ☎内線 224